



日本プライマリ・ケア連合学会
中国ブロック支部 活動報告

発行人：田妻 進
〒734-8551
広島県広島市南区霞 1-2-3
広島大学病院 総合内科・総合診療科
Tel&Fax：081-82-257-5461

ニュースレター No.12 (2016.9)

【中国ブロック支部活動報告】

<<中国ブロックでの指導医養成コースの報告>>

松坂内科医院・岡山家庭医療センター奈義ファミリークリニック 松坂英樹

岡山家庭医療センター奈義ファミリークリニック 松下明

2016年度の中国ブロック支部の指導医養成コースである m-HANDS-FDF (modified - Home and Away Nine DayS - Faculty Development Fellowship) の第1回を8月20日～21日に鳥取大学で開催しました。

JPCA-MLなどで募集し中国地方の指導医6名がコースに参加しています。(指導スタッフは上記の松坂・松下に加え、出雲家庭医療学センター：藤原和成先生、鳥取大学医学部地域医療学講座：井上和興先生、朴大昊先生) 以下にコースの概要と実際に参した加指導医からの報告の一部を掲載しますのでご一読ください。2017年度も同じような枠組みを予定しています。

<目的>

中国ブロックの指導医養成(教育)

<対象>

- ・中国ブロックに所属しており、家庭医療後期研修を終了した医師
- ・中国ブロックの家庭医療後期研修に関わる指導医

Core Competence: Adult Educator(成人学習支援者)

学習者と向き合い、その学びに気を配り、学びの場をサポートできる

教育者の役割と限界を知り、学習者と協同的に学び、生涯学習者を育てる姿勢で関わる

学習者の学びを促進するための知識と技術を適切に用いることができる

<スケジュール>

第1回 in 米子 8月20日(土)～21日(日)

オリエンテーション、FD概論、教育理論総論、フィードバック、外来教育①5マイクロスキル、ファシリテーション、シネメデュケーション、外来教育②SNAPPS、カリキュラム開発、私の主張(プレゼンテーション)

第2回 in 福山 9月24日(土)～25日(日)

メンタリング、模擬ティーチング(初期研修医対象)、Difficult Teaching Encounter(教育困難事例)、指導のビデオレビュー、評価

第3回 in 出雲 11月26日(土)～27日(日)

模擬ティーチング(学生対象)、齊藤裕之先生による教育セッション、私の主張リターンズ、指導のビデオレビュー、カリキュラム評価、教育哲学

第4回 in 岡山 1月28日(土)～29日(日)

ポートフォリオ教育、模擬ティーチング(家庭医療専攻医対象)、指導のビデオレビュー、卒業制作発表

ポートフォリオ発表会 in 出雲

中国ブロックの家庭医療専攻医のポートフォリオ発表会の翌日に m-HANDS-FDF の学びからポートフォリオを作成し、ポスター発表

<課題>

事前課題・事後課題、自身の指導のビデオ撮影、チームを組んでのティーチング作成、中国ブロックのポートフォリオ発表会に合わせFDの学びを発表

(当日の様子について参加者からの報告)

FD概論、他

各参加者の学びに対するイメージをレゴブロックを用いて表現し、インベントリーによって分類された学習スタイルとともに参加者間で共有した。以上を関連付けながら、参加者は成人学習理論の概要とファカルティデベロップメントを行う領域の広さを認識した。

フィードバック

事前課題で自分が与えたフィードバック、受けたフィードバックを各々のフェローが発表して検討した。フィードバックを客観的フィードバックと主観的フィードバックに分けての考え、客観的フィードバックは、事実として返し、記述的に伝える。主観的フィードバックは、自分なりに受け取って、I (私) メッセージで伝えることを学んだ。その後、実際に学生指導のビデオをみて、フィードバックを行った。ネガティブフィードバックを行うのは難しかった。

5 microskills

このセッションでは、講義の後にフェローで2組に分かれ、ロールプレイを行いました。①考えを述べさせる、②根拠を述べさせる、③ミニ講義、④ほめる、⑤間違いを修正、の流れですが、RIME方式のInterpreterの学習者レベルの指導法です。様々な学習者(学生、研修医)の学習レベルに合わせて、思考過程を誘導することや的確で簡潔なミニ講義を行うことの難しさを肌で感じました。

このセッションでは、学習者のレベルに合わせた外来指導スキルをこれからも研鑽していく意欲をいただきました。自らのレベルアップが学習者にフィードバックされるようにより深い理解を得たいと思います。

ファシリテーション

第一部は、ファシリテーションの必要性を考えるという内容でした。指導医には評価者や教材開発者、ロールモデルのほかにファシリテーターという役割があります。ファシリテーションは、チームの議論を促進したり、容易にしたり、円滑にする役割がある。ファシリテーターとは、チームが持っている力を引き出し大きく育てていく活動をする人で、グループ内の調整や環境を整えて学習を促す人のことで、ファシリテーターには、論点を定めて、真意を掴み、考えを広めて、共通項を見つけるという役割がある、という内容でした。第2部は、質問の仕方を学んでファシリテーションを実践した。

シネメデュケーション

2本の映像(鋼の錬金術師、男はつらいよ)を見て、思うことを自由に語った。

初めて知った教育法であったが、確かに映像は、五感をフルに刺激するので直に脳に入ってきて、また追体験でき自然にいろいろな考えさせてくれるというメリットがあるように思う。

教育しづらい態度領域の教育、特にプロフェッショナルリズムについて直感的に伝えることができる素晴らしい手法だと思った。相手の立場に立つということは思った以上に難しいが、シネメデュケーションはきっと一助になると思う。

SNAPPS法

研修医や学生へ外来棟での指導方法のひとつである「SNAPPS法」をロールプレイにより経験した。スムーズに行うためには、それぞれのステップで学生の能力がある程度なければ難しいということを実感した。「病歴を要約できること」「臨床推論：根拠を持って鑑別診断を上げる」「今後のプランをたてる」という基本的なステップで、学生があるレベルに達していなければ「SNAPPS法」を利用することは難しいことがあったが、変更することで利用することもでき、「SNAPPS法」を学習者に提示しながらフィードバックを行うことで、学習者の手助けにもなりうると考えられた。普段行っている外来実習などに活かしていけると思う。

カリキュラム

報告①カリキュラムは単なる時間割ではない。カリキュラムを作成するにあたっては様々な枠組みがある。今回はKempモデルを使って、カリキュラム開発を指導受けながら行った。目標、方略、評価の順に組み立てた。知識、態度、技術領域に分けての考え方を学んだ。学習者を評価するMillerのTriangle、カリキュラムを評価するKirkpatrickのpyramidがあり頂点にむかう程達成が困難。教育活動を評価するのは難しい。

報告②参加者が指導にかかわっているカリキュラムを段階的に改善させる個人ワークを約1時間半行った。主にKemp Modelを用いて目標、方略、評価法の順で列記し、逐次全体を振り返って一貫性を持つように配慮した。また、カリキュラム評価と改善法もカリキュラムに組み込み、学習者がKirkpatrickのピラミッドにおける高い学習レベルが達成できるよう、各自でカリキュラム運用してもらうこととなった。

私の主張(プレゼンテーション)

2日目の最後に、フェローが各自、【私の主張】と題し、3分制限のプレゼンテーションを行いました。1名は途中で3分を超過しましたが、他のフェローは3分以内で、発表を完遂しました。各々の内容は様々で、表現方法も、ホワイトボードと体での表現に始まり、パワーポイントスライドを用いた漫画の引用、シンプルスライド、カラフルスライドと、興味ををひかれる工夫がありました。限られた時間でプレゼンの内容を理解してもらうには、ポイントを絞ることが大切であることが分かり、そのためにはリハーサルも含めた準備も大切であると学びました。次回の機会には、このスキルを活用し、学習者に良い影響を与えるプレゼンを行いたいと思います。

当日の様子



<<広島県 プライマリケア・セミナー 開催報告 第113～115回>>

<第113回 超音波スキル最前線 第2弾>

日時：平成28年2月4日(木) 19:00～21:00 場所：三井ガーデンホテル広島

座長 広島大学病院 田妻進先生

◎ワンポイント講座 (キーノートレクチャ)

第1部 「腸管の超音波診たて」 吉島病院 松村俊二先生

第2部 「肩・足首の超音波診たて」 シムラ病院 池尻好聰先生

◎実技講座 超音波システムの機器をグループに分かれて実体験できます

インストラクター 松村俊二先生 池尻好聰先生

ファシリテーター 小林知貴先生 菊地由花先生

<第114回 めまい診療を学ぶ>

日時：平成28年5月25日(水) 19:00～20:50 場所：ホテルグランヴィア広島

◎One Point lesson

座長：広島大学病院 田妻進先生

【危険なめまいを見逃さないために】『総合診療医のテクニック』 洛和会丸太町病院 上田剛士先生

【めまい診療テクニック】『めまいの診療 実践版』 横浜市立みなと赤十字病院 新井基洋先生

【症例から学ぶ「めまい診療」】

『プライマリ・ケア医の立場から～最近経験した患者さま～』 中西病院 中西重清先生

『脳神経内科医の立場から～脳卒中を見逃さないために～』 脳神経センター大田記念病院野村栄一先生

<第115回 プライマリ・ケア医が知っておきたい熱中症とその輸液管理>

日時：平成28年7月8日(金) 場所：広島県医師会館

1. 実技ワンポイントレッスン

『熱中症診療のテクニック』 呉医療センター 岩崎泰昌先生 竹田明希子先生

2. 症例から学ぶミニレクチャー ～プライマリ・ケア医が知っておきたい輸液管理のノウハウ～

『熱性疾患と輸液』 広島市民病院 佐藤只空先生

『循環動態に配慮した輸液』 安佐市民病院 原田和歌子先生

『腎機能に配慮した輸液』 小田内科 小田弘明先生

3. パネルディスカッション

【開催案内】

<<第5回日本プライマリ・ケア連合学会中国ブロック支部学術集会>>

(旧・中国ブロック支部ポータル発表会)のご案内 島根大学医学部 総合医療学講座 木島 庸貴

2016年度の中国ブロック支部ポータル発表会は、これまでの当ブロックでのポータル発表会を開催してきた経緯と学会本部から各地方支部にて学術集会を開催していく意向を踏まえて、名称が変更になりました。

このたび2017年3月11日(土)・12日(日)に、島根県出雲市(最寄駅は出雲市駅)にて、第5回日本プライマリ・ケア連合学会中国ブロック支部学術集会を開催いたします。スケジュールは、例年通り初日のお昼頃に代議員会を開催し、引き続いて学術集会(専攻医のポータル発表会など)を実施することを検討しておりますが、詳細な日時・場所・内容などは後日改めてご案内いたします。また託児スペースも設置する予定としております。

どうぞ皆さまご予定の程、よろしく願いいたします。

<<第2回広島総合診療セミナー>>

2015年7月に引き続き第2回総合診療セミナーを広島で開催いたします。

日時：2016年12月17日(土) 14:00～17:00

場所：広島大学病院(予定)

プログラム：

症例検討：7～8症例(県内の各病院から1例程度教育的症例)

レクチャー：丸太町病院 上田剛士先生 などを予定